

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報

第六百六十號

明治四十年四月三十日

和歌山縣

公文

○和歌山縣告示第九十九號

農商務省所轄水産講習所ニ於テ本科並ニ現業科生徒募集セラル、ニ付志願者ハ左記事項熟知之上
來ル五月十六日迄ニ當廳ニ到達スル様入學願書ヲ差出スヘシ

明治四十年四月廿六日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

一、募集人員

本科

六拾名

内譯

漁撈科

二十五名

製造科

二十五名

養殖科

十名

現業科

拾五名

織詰專脩

五名

節類專脩

五名

油蠟專脩

五名

縣報第六百六十號

明治四拾年四月三十日

第三種郵便物認可

一、入學ニ關スル事項

本科

資格 中學卒業若クハ之ト全等以上ノ學力ヲ有シ年齡滿十七年以上ノモノ

試驗科目 中學卒業ノ程度ニヨリ左ノ學科及体格ヲ試驗ス

一、讀書 國語、漢文、

一、作文 漢字交リ文、日用文

一、動物學

一、植物學

一、物理學

一、化學

一、地理 日本地理、外國地理

一、數學 算術、代數、幾何、三角、

一、外國語 英文和譯、和文英譯、文法

一、圖畫 自在畫

但都合ニ依リ某學科ヲ省略スルコトアルヘシ

願書差出期日

志願者ハ五月一日ヨリ二十日迄東京ニテ受験者ハ直接水産講習所ニ其他ハ地方廳ヲ經由シテ左式ノ入學願書ヲ差出スヘシ

試驗期日及場所

東京ニ於テハ五月三十一日ヨリ地方ニ於テハ六月一日ヨリ仙臺、大坂、福岡ニ於テ施行ス
但受験者ハ試験期日前水産講習所或ハ受験地ノ府縣廳ニ出頭シ宿所ノ届書ヲ差出テ試験ノ
場所及時間割等ヲ承合スヘシ

書式 (用紙美濃)

入學願書

受験地(東京、大坂、仙臺、福岡等朱書)

私儀御所本科何科(現業科)へ入學(何々、専修)志願ニ付御試業ノ上(現業科ニハ「御試業ノ上」
ノ五字ヲ省ク)御許可被下度別紙履歷書相添此段相願候也

原籍、族籍、家業

某男子弟等

年月日

何 某印

宿所(現在住所)

水産講習所長松原新之助殿

履歷書

(用紙美濃)

學業

一、何年月日ヨリ何地官(公私)立何學校ニ入學全科卒業又ハ何學科何學年級修業

一、何年月日何地何某ニ從ヒ何年間何學修業用書何々(卒業證書ヲ有スルモノハ其寫及校長
ノ證明書ヲ添へ實業ニ從事シタルモノハ其經歷ヲモ記入スヘシ)

賞罰

一、何年月日何所ニ於テ何賞罰ヲ受ケタリ

右之通相違無之候也

年月日

何 某 印

右ノ外本科志願者ハ昨三十九年一月以後單身撮影ノ手札形寫眞ニ志望科、族籍、氏名、生年月日ヲ自書シタルモノヲ入學願書ニ添付スヘシ

現業科

修業期間

一、罐詰專習 九月十一日ヨリ十二月マデ

一、節類專習 六月十五日ヨリ九月マデ

一、油蠟專習 十月十五日ヨリ一月マデ

資格及採否

入學者ハ試業ヲ要セス二ヶ年以上水産ノ實業ニ從事シタルモノ若クハ其子弟ニシテ年齡滿貳拾年以上參拾年以下ノモノ

應募者募集人員ニ超過シタル場合ニハ本人ノ履歷ト地方ノ狀況トニ依リテ撰拔ス故ニ入學志願者ハ可成詳細ナル履歷書及左式ノ体格檢査書ヲ願書ニ添付シテ差出スヘシ
入學願書差出期ハ本科ニ全シ

體格檢査書

(用紙美濃紙)

族籍某男、子弟等

何 某

何年何月何日生

一、體格 (甲、乙、丙) 最モ強健ナルモノヲ甲トシ之ニ亞クモノヲ乙トシ現ニ疾患ナキモ
身體薄弱ナルモノ若クハ著シキ病歴ヲ有スルモノヲ丙トス

一、體質 (強健、稍弱、弱) 特別ナル事項ハ其條件ヲ記ス

一、身長 (何尺寸分)

一、體重 (何貫匁)

一、胸圍 (何尺寸分) 常時、充盈、空虛及其差

一、肺活量 (何千何百立方センチメートル)

一、視力 スネルレン氏ノ檢視法ニ依リ左右共其中心視力ヲ檢シ辨色力眼疾ヲモ
(何々) 檢査ス

一、聽力 (尋常、過敏、遲鈍) 左右面耳ニ就キ懷中時計ニテ可及的其聽取ノ最遠距離ヲ測
定シセンチメートルニテ記入尙障害ノ有無及耳疾ヲモ檢査ス

一、神經系

一、呼吸器

一、血行器

一、皮膚其他

一、脊柱

一、齒牙

一、痘

一、已往現在ノ疾病又ハ畸形

年月日

公立病院(病院ナキ地方ハ内務省免許醫)

何 某印、

○和歌山縣告示第百號

府縣制第六十八條第二號ニ依リ縣參事會ノ議決ヲ經タル明治四十年度和歌山縣歲入歲出追加豫算ノ要領左ノ如シ

明治四十年四月二十五日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

明治四十年度和歌山縣歲入歲出追加豫算

經常部

第十款 雜收入

金貳拾壹圓七拾九錢

郡市收入

第一項 請願巡查費

金貳拾壹圓七拾九錢

臨時部

第一款 繰越金

金壹萬五千七百參拾七圓九拾貳錢

郡市收入

第一項 前年度繰越金

金壹萬五千七百參拾七圓九拾貳錢

第二款 國庫補助金

金參千百四拾七圓五拾八錢

第一項 傳染病豫防補助金

金參千百四拾七圓五拾八錢

歲出

經常部

第一款 警察費

金貳拾壹圓七拾九錢

第一項 俸給及諸給

金拾八圓參拾五錢

第二項 廳費

金參圓四拾四錢

第六款 衛生及病院費

金壹萬八千八百八拾五圓五拾錢

第一項 衛生諸費

金壹萬八千八百八拾五圓五拾錢

褒賞

一金貳圓四拾壹錢六厘 東牟婁郡三尾川村

倉本龜市

一金七拾七錢壹厘

全

東吉四郎

和歌山縣東牟婁郡三尾川村三尾川高等小學校基本財産ノ内ヘ頭書ノ金員寄付候段奇特(殊勝)ニ候事

明治四十年四月十八日

和歌山縣知事

從五位 伊澤多喜男

一ネツト 壹張

和歌山市本町三丁目

澁野米吉

一ヲケツト 貳本

同 廣瀬通丁一丁目

田村 榮

一同 壹本

同 南大工町

奥村孝吉

和歌山縣和歌山市立始成尋常小學校備品トシテ頭書ノ物件寄付候段奇特ニ候事

明治四十年四月十八日

和歌山縣知事

從五位 伊澤多喜男

一金貳圓六拾錢

有田郡箕島町

上野山三之助

一同 一同

田中茂兵衛	田中善之助	尾藤音吉	九鬼春松	兒島安吉	島田兵次郎	尾藤傳九郎	島田源藏	兒島由松	上野山久七	田伏仙右衛門	田中福松	福田留次郎	上野山音松	上野山文之助	武田作兵衛	湯川虎楠	黒柳幾三郎	上野山留楠
一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同

九鬼留吉	万谷半次郎	尾藤嘉助	九鬼千代吉	田中政右衛門	島田豐吉	島田甚太郎	兒島利兵衛	兒島常松	福田要九郎	田伏由右衛門	上野山又吉	兒島熊吉	田中卯之助	中尾岩楠	田中嘉七	中尾寅楠	田伏忠五郎	梅本楠松
一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同	一同

尾藤直右衛門	万谷半右衛門	上野山由兵衛	田中三右衛門	田中由太郎	田中半兵衛	山田由松	田中平八	福田文五郎	尾藤由松	橋中伊八	石井文次郎	上野山菊松	田中文兵衛	兒島勤七	榎本楠太郎	黒柳又太郎	中尾傳助	巽兵右衛門
--------	--------	--------	--------	-------	-------	------	------	-------	------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------

○觀測

一	同	栗山福松	一	同	梅本拾吉	一	同	梅本新七
一	同	古川由松	一	同	尾藤楠松	一	同	中尾吉右衛門
一	同	尾藤權助	一	同	中尾安吉	一	同	中尾淺吉
一	同	中尾龜太郎	一	同	中尾安太郎	一	同	中尾權兵衛
一	同	田伏松兵衛	一	同	島田平八	一	同	島田由兵衛
一	同	島田いち	一	同	島田儀兵衛	一	同	田中友吉
一	同	島田由太郎	一	同	中尾楠松	一	同	梅本角右衛門
一	同	尾藤嘉兵衛	一	同	梅本音吉	一	同	古川吉右衛門
一	同	田中安太郎	一	同	梅本直吉	一	同	爾士陽
一	同	梅本春松	一	同	梅本次郎吉	一	同	上野山喜一
一	同	梅本傳之丞	一	同	島田爲吉	一	同	

和歌山縣有田郡箕島町辰ヶ濱尋常小學校増築費ノ内ノ頭書ノ金員寄付候段奇特ニ候事
 明治四十年四月十八日 和歌山縣知事 從五位 伊澤多喜男

明治四十年四月廿五日ヨリ三日間當地氣象概況

種	月	前	本	前	本	前	本
類	日	年	年	年	年	年	年
		四	四	四	四	四	四
		月	月	月	月	月	月
		廿	廿	廿	廿	廿	廿
		五	六	六	七	七	七
		日	日	日	日	日	日

平均氣壓
平均氣温
最高氣温
最低氣温
最多風向
平均風力
天氣
雨雪量
記事現象

七六七耗三	一六度〇	二二度五	九度三	北東	三米六	晴	夕刻海上 風雨ノ警 報到着
七六七耗四	一四度一	一九度七	七度六	南西	四米〇	晴	午前十時 沿海ノ警 報着電 午後月暈 ヲ映ズ
七六四耗五	一四度四	一九度八	一〇度七	東	二米八	雨又曇	終日時々 降雨ス
七六三耗五	一六度六	二三度二	一〇度〇	東	三米一	晴	午前月暈 ヲ映ズ
七五七耗七	一五度八	一八度二	一三度二	東	一米四	雨後曇	早曉ヨリ 降雨シ午 后三時歇 夕刻海上 風雨ノ警 戒ヲ解除 ス
七五六耗八	一六度八	二〇度三	一四度七	東	二米八	雨	終日時々 降雨ス

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

縣報第六百六十號

明治四拾年四月三十拾日

第三種郵便物認可

十四終

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治四十年四月廿九日印刷

(寄板代價)

和歌山市久保町一丁目一番地